

設問2

(改めて、子どもさんが本事業に参加されるに当たって思われることをお書きください。)

可愛い子ほど旅をさせろ!! 得るもの全てが我が子の大きな財産になることを願って、頑張ってもらいたいと思います。

「見守る」ということを意識し、自分自身も成長し、子ども達が成長することを楽しみにしています。

完歩した子ども達を誇りに思っています。楽しみです。

自分たちは100km歩いたことはないけれど、自信を持って「100km歩いたことはすごいんだ」と言ってあげたいと思います。

この経験が子どもの自分を見つめ直す機会であり、また感動を分かち合えるよう、留守の時間を使って親も考え、成長したいと思います。

本当に頑張ってもらいたいと思います。

思ったよりも大変な5日間だと思います。

出来れば皆と協力してゴールしてほしいです。

ゲームやテレビのない生活もいいもんだと感じてほしい。

子どもの方から参加したいという希望であるが、親としての支援をもっと考えてみたいと思った。子どもが大きく成長して帰ってきてくれることを願っています。

たくさんの友達と出会い、自分のパワーを出しきってほしいです。

自分の思いを言葉にしっかり出せるか不安ですが、頑張れ。

私の息子は一人っ子で負けず嫌いで、ビデオに出てきた大作君のようにまだ周囲の人の苦言をすぐに受け入れられないところがあります。本事業に参加することで感謝の心を身に付けて欲しいと思っています。

集団におけるルール、規律、優しさ思いやり等を身に付けてほしい。

「今年はおの100どうする?」って聞くとすぐに「今年も行くよ!」と答えてくれました。子ども達にとって100km歩くことは決して楽ではないはずなのに、そんな思いをしてくれて「おの100」の体験を今年も出来る事にまず感謝します。

そして、いろいろ大変だとは思いますがよろしくお願いします。

今回は2回目となります。

昨年は自分たちのために多くの方の協力、支えがあったことを知り感謝の気持ちも持ったようです。

今年もいろいろなことを学んでほしいと思います。

親自身も成長出来るよう頑張りたいです。

子ども自身の力で乗り切ることがたくさんあるだろうと思います。

大きく成長して帰ってくるのが楽しみです。

しんどいこと、苦しいことを通して他人に感謝できるようになってほしいです。

また、自分のためだけでなく他人のために生きるということを学んでほしいです。

100kmを歩くことで何かを掴んでくれたら良いです。

(友達のこと、頑張ること、我慢すること、何でも良いです)

友達を作り、皆で成長して帰って来てくれる事を願っています。

自分で課題を決め、厳しさ、辛さの中から考えたり喜びを見つけたり、いろいろな心の感情を味わってもらいたいと思う。そして、100kmと達成して心から感動し満足感を体感してほしいです。とにかく頑張ってもらいたい。

5日目のゴールがとても楽しみになりました。

どんな顔をしているか...

とても貴重な体験が出来ることが与えられて良かったと思います。

子どもの成長を楽しみにしています。

今まで、全然知らなかった同じくらいの年の子ども達とたくさん触れ合っ、お互いに励ましあいながら100kmを元気で完歩してほしいです。

自分に自信を持ってほしい。人の話をちゃんと聞いてほしい。

好奇心いっぱい何でもやってみたい娘ですが、今一つうわべしか見ていないようなところがあり、今回も「苦しさ」に直面した時にどう乗り切れるのか、少々不安です。自分の力と考えで乗り切ってくれば「成長」なのですが...

自分の力はもちろん、サポートする方々、リーダーの方々、お友達など、自分に関わっているすべての方々の力で、辛くても最後までやり遂げることが出来るということを感じとって成長してもらいたいと思いました。

設問2

(改めて、子どもさんが本事業に参加されるに当たって思われることをお書きください。)

今は「楽勝よ」と言っているけれど、実際そんなに甘いことでは無いので、達成して戻って来た時に一緒に喜び、自信を持ってこれから頑張ってもらえるよう、親として成長していきたいと思います。

親も子どもと一緒に成長できればと思っている。

2度目の参加で、軽く考えたりすることなく所信を持ってほしいと思います。感動の前の苦しさをたくさん味わって、去年とは違った感動を味わってもらい、また一つ成長してもらえたらと思います。

感動は生きる力になると本当に思うので、沢山たくさん仲間と一緒に感動してほしいです。辛い経験を通して生きる喜びを感じてほしいです。

参加申し込みをした時から気持ちは変わっていないのですが、甘えの許される家族から離れた5日間の旅でスタッフの方や仲間達とのふれあいの中で成長して帰ってくることを願っています。

本当にすごいことに挑戦しちようとしているのだと改めて思いました。成長が目に見えるようで楽しみです。体調を万全にして行けるようにサポートしようと思います。

自分の考えをしっかりとって考える時間を体験してほしいと思います。「出来るんだ」という自信をつけて帰って来てくれると楽しみにしています。

暑い中、色々なことを思いながら歩き、沢山のことを体感して頑張ってきてほしいです。

親もまた色々なことを思い、ただ待つことしか出来ませんがゴールでは精一杯抱きしめてやりたいです。

大丈夫だろうかという不安はありますが、100km歩いてくれると信じて見守り、歩ききった時の感動を子どもと一緒に味わいたいと思っています。

本人も納得しておの100に参加させていただいています。一応今年で最後となりますが、4年間でいろんな方と出会い、いろんなことを体験させていただいて感謝感謝の気持ちでいっぱいです。

来年は中学生となり難しい年頃になりますが、おの100の「我慢」と「感動」の経験を思い出して何事も乗り越えていってほしいです。

6年生最後のおの100を思いっきり楽しんでほしいと思います。きっと完歩してから気付くことがたくさんあると思います。言葉では表せないことに気付いてくれることを期待しています。

なかなか子離れ出来ていないのですが、信じて待ちたいと思います。

腹痛が起こるかもと心配しています。病気のために体力が落ちています。しかし、本人がチャレンジしたいという思いが強く、その思いに引きずられるように親がこの場に来ています。途中でリタイアすることになったとしても、本人の中にも親の私たちにとっても必ず何か残ると思っています。

決められたことを守り、最後まで歩き、達成感を味わってほしいと思っています。

6年生最後の年なので、自分だけでなく周囲に目を配れるようにと家庭で話をしているので、自分で決めた目標を達成してほしいと思っています。

子どもの頑張ろうとしている意欲を影ながら応援するのみかな...と思っています。

自分の可能性を活かしてほしいと思います。

自分に正直な部分が時にマイペースで輪の中に入れられない時もありますが、大きな一歩を踏み出せたらと思っています。

自分勝手な所があるので少しでも考え方や行動が変化すればよいです。

本当は親のエゴ!?と思いつつ、でも、なかなか3年間通して一つの目標を達成する...一人の力では無理かも挫けるかも!!という気持ちを仲間と一緒に乗り越える喜びを心に刻んでほしいと思っています。

昨年はついて歩くのが精一杯だったと思います。今年は2回目なので少し様子も分かり気持ちに余裕が持てると思います。ですので、今年は仲間の手伝いが出来るようになってくれたらいいなと思います。それと、楽しんで歩いてほしいと思っています。

今の日常で「おの100」の様に自分が追い込まれることは少ないと思います。この経験が子ども達の自信と力になっていってたら良いと思います。

100kmという長い距離を歩くだけの大量は大丈夫か!?又、5日間という長い日数を家族から離れて過ごせるだろうか!?など、親として心配でもあるが、スタッフのお力をお借りして子ども親も成長させていただけたらと思いますのでよろしくをお願いします。

後、これは家族の事情なんですけど、下の子の入院で参加する娘が少し寂しい思いで参加するかもしれません。親として努力します。よろしくをお願いします。

「自分にできないこと」を子どもにやらせようとしていたことに『ハッ』としています。頑張ろうとしている子を、いじめないで応援できる私になりたいです。

思いやり、感謝の気持ち、我慢、甘えが少しでも改善できるよう親も子ども頑張ろうと思っています。

第7回おのみち100km徒歩の旅
保護者事前研修会アンケート集計《設問2》

設問2
(改めて、子どもさんが本事業に参加されるに当たって思われることをお書きください。)

周囲の協力があって成長するという意識を少しずつでも感じとってほしいと思います。

自分なりの生きる目標を見つけて帰ってほしい。

不安なことも多いのですが、とてもたくさんの宝物を手に入れて帰って来てくれると信じています。再びこのおの100に参加させていただき喜びを味わいつつ、今年も最高のおの100になりますように。

子どもの成長、そして親の成長を願っています。

子どもが協力すること、助けられるということ、助けるということを学び、感動を覚え刺激になり、将来にわたっての思い出になることを望みます。

素晴らしい事業に参加させていただけることに感謝し、親も子どもも成長できるよう、真剣に取り組みたいと思います。参加したくても参加できなかったお子さんの分も頑張ってもらいたいと思います。

初めての参加で大変心配でしたが、やりきった後の感動を期待して送り出したいと思います。

6年生で3回目になるのでリーダーシップが取れるようになれば。

我慢の体験で100km歩くことで、しっかりと自分なりに体験できればいいかな...

親も子どもに負けないよう、背中を押してあげるようしっかりしないといけないと思いました。

最後まで諦めず感動を味わってほしい。自信を付けてほしい。

昨年100kmに参加して以降、いろんなことにチャレンジしようという意欲は目立っておりとお返事できると思います。

子どもの希望を後押しする一年でしたが、さらに親として親の背中を見て育つ我が子に恥じない姿勢と眼差しで私たちも邁進したいと思います。

親の居ないところでどこまで頑張れるだろうと本当に不安いっぱいですが、その反面、子どもがどのくらい成長するかも楽しみです。

子どもが居ない4泊5日の間に、親として自分自身を見つめ直したいと思います。子どもには沢山の出会いと感動を得てもらいたいです。

良いご縁をいただいていると思っています。チャンス!とも思っています。家に居るとつい口を出したり手を出したりしてしまうので、自分の力を出しにくい状況に置いてやっています(反省)。

ここはひとつ自分の力を出し切って頑張ってもらいたいです。

辛さを乗り越え、メンバーと助け合い、皆でゴールを達成してほしいと思います。

親がしていない経験をして帰って来るときに抱きしめてやりたいなと思います。

今、この時しかできない体験をして自分の体に刻んで、それが大人になった時の宝になってくれればと思います。

わがまま、甘えん坊がぐっと我慢することが身につくよう期待しています。

最後まで諦めず、本事業に参加して良かったと思ってもらえることを信じています。

いい思い出を作ってほしい。

スタッフの方に感謝の気持ち、健康な体で参加出来ることに感謝してほしい。

今回2回目の参加なので周囲のお友達などと励まし合って、やはり楽しんで完歩してもらえたらと思います。

自分のことは自分でして、自己中心的な考えではなく周りも見れるようになってほしいと思います。

苦しくても最後まで頑張ってお終いしてほしいです。

すごく家族がいっぱいいるので、誰にでもすぐに助けてくれる立場にあります。なので、本当に10年間甘えて育ったぶん、とても辛いと思いました。「今、頑張れば後で絶対に良いことがあるし、頑張ったぶんだけ自分に返ってくるよ」ということを少しでも学んでほしいと思った。

とにかく負けずに辛抱してほしいと思う。

我慢体験、4日間の修業だと思って臨んでほしい。そこから様々な新しい自分を発見してくれるのではないのでしょうか。

親子共に成長させていただきたく思います。

参加すると言った子どもにもこの事業に携わっておられる皆様にも感謝しております。

子ども自身は良く分からないまま「行きたい!!」と言い張りでしたが、100km歩くことの辛さは実際に経験しないと分からないと思います。

苦しさを乗り越えて成長してほしいと思います。

一つの目標に向かう時に必ず現れる苦しみ、困難、又はやり遂げた時の達成感を体全部で感じてほしいと思います。

設問2

(改めて、子どもさんが本事業に参加されるに当たって思われることをお書きください。)

親離れ子離れするいいきっかけになるのではと感じました。
親と子の間の子どもを信じることによる程よい距離感を学びたいと思います。

精神的にも強くなって帰ってきてほしい。

昨年は、学生ボランティアの方々やスタッフの方の力添えもあり100km完歩することが出来ました。本人が卵アレルギーがあり、昨年は他の子とは別にと気を使っていたいただきましたが、今年は他の子と同様にさせていただけると幸いです。昨年、本人も他の子とは違うと少し気にしていた様子でした。みなと参加するんだから一人特別扱いっていうのではなくみんなと一緒にいい様です。
今年も精一杯頑張ってくれるといいなと思います。

昨年に続き2度目の参加ですが、1回目よりは不安が少ないにしてもまだまだ気掛かりなことばかりですが、子どもは1回目の完歩がとても自信になっています。またあのゴールした時の達成感を味わいたい。忘れられないと言っています。子離れしないといけないなあと感じています。

初めての参加で、こういったセミナー等は知らなかったので、「歩くこと、完歩する喜びを知ること」のために、どちらかと言うと子どものために参加する感じで申し込んだが、親にとっても学ぶ機会を与えていただく良い出会いとなり嬉しいです。
子どもの完歩、自身の成長、出来る夏となればと願います。

自分の出来ること、可能性を試してほしい。

子どもが逞しく成長した姿を見せてくれることと期待しています。

見違えるような成長は期待してはいませんが、何かを感じ取って帰って来てくれたらなと思います。又、親にとっても子の参加はとても意味のあることになるのではないかと今、感じ始めてます。

親である私が100km徒歩したことが無いのに、子どもが徒歩するなんて...と思います。
やるからには最後までやり遂げてほしいと思います。

子どもには毎日自分の力で自分で考えて行動出来る子になってほしいと期待をしていますが、それ以上に私自身が子離れできないと...と思っています。
出発まではもう平気と思っていても、いざ家に居ないとなると毎回心配でなりません。昨年はそれでも1回目より子離れ出来ている感じはありましたがまだまだです。
出発して帰って来た時の気持ちをずっと維持できればと思っています。

改めて参加させていただく事を嬉しく思います。
子どもの成長を期待し、それ以上に親として成長し、一緒にゴールしたいと思います。

今日の研修に出席して、改めて子どもは大変な取り組みをするんだと実感しました。
親として、時には厳しく、そして時には一歩離れて見守ってあげる大切さ、笑顔で送り出し、笑顔で5日間頑張った子どもを迎えてあげたいと思います。

何事も諦めずに一生懸命すれば達成できる。自分の身になる...と信じ、これからは頑張ってもらいたい
人生の中で大変なのは人間関係だと私は思います。これからの人生、いろんな人と出会い、感じ、そして相手への思いやりを持ってほしいです。

相手を思いやり、最高学年としてみんなに目を配ってくれればと思います。

子どもも「しんどい」でしょう。しかし、その親も「しんどさ」に打ち勝てば、きっと親子で成長出来ると思っています。

親子で全てのものに『ありがとう』という豊かな心を持てる気がします。

昨年子どもと一緒に自転車で18km半日掛けて走りました。とても苦しく、でもやりきった(走りきった)時の顔が忘れられません。そんな感動をまた味わえるのは嬉しく思います。
本当に苦しく、しんどいと思いますが、やりきった気持ちを思いだして頑張ってもらいたい。

普段は気に入らないことがあるとすぐに不服そうな顔をして動かなくなる娘ですが、親のいない環境の中で「我慢する」「自分の気持ちに折り合いをつける」ことが少しでも出来てくれればと思います。

新しい自分(もっと深い所)を見つけてもらいたい。

自分の力で最後までやり抜くという気持ちで頑張ってもらいたい。

一人前の大人になるためのスタートとしてほしい。

ソフトボールを今年から始めて、男の子らしくなってきたなと感じていて、この100kmも自分から言い出して、子どもの変化しだした丁度いい時期に参加できることを嬉しく思います。

不堪な面が多くありますが、笑顔でゴールしてもらいたいと思います。

第7回おのみち100km徒歩の旅
保護者事前研修会アンケート集計《設問2》

設問2

(改めて、子どもさんが本事業に参加されるに当たって思われることをお書きください。)

100km歩くことの辛さの中に自分が努力し達成していくことの楽しさを見出してくれたらいいなと思います。笑顔でゴールして欲しいですね。

今回2回目、初回も思ったのですが、私の知る限りの子どもがとても完歩できるとは思わず、何より、完歩した後(直後)親が見る限りの子どもの感動が感じ取れなかった、淡々としていたのが印象的でした。親ばかりが感動していた印象でした。

普段の生活とは違う5日間は、今後素晴らしい経験として子どもの中に残ると思います。ふれあい体験、こんなことは一生出来ないと思います。参加することが出来て良かったです。